

コ 澄川地区連合会【南区】 取組年度▶R1

地理・地形	対象災害種	災害脆弱性	地区の範囲	協議主体	取組のテーマ
河川流域	地震・水害・土砂	河川・がけ地	連合会	まちづくり協議会	自主防災活動



訓練内容のあり方を検討して計画を策定し、防災活動の推進を行う

先進的かつ熱心に防災に取り組んできた地区のひとつであり、長年連合会が中心となり防災訓練を実施している。2つの川、傾斜地及び崖地があるといった地域特性を踏まえた地区防災計画の策定に取り組んでいる。



(1) 地区の概要

南北5.7km、東西の最長が1.5kmという縦に長い地形の地区。過去の宅地造成の影響などで、道幅が狭く複雑な道路が入り組んだ場所も少なくないが、地下鉄南北線澄川駅及び自衛隊前駅の2駅を有しており利便性は高い。

第8回防災まちづくり大賞（平成15年度）の消防科学総合センター理事長賞（町内会の枠を超えた地域ぐるみの防災対策）を総務省消防庁より受賞している。



(2) 災害リスクと課題

丘陵地、台地、低地で構成され、崖と河川があり、澄川地区の中でも異なる災害が起きる可能性がある。精進川と望月寒川とに挟まれており、洪水や土砂災害などの危険性がある地区。



(3) モデル事業での成果

地区防災計画策定に向けて「澄川地区防災計画検討会議」を設置した。地域内のハザードが異なり、想定される災害が同じではなく、避難行動が変わってくること、また、3つの小学校区を有していることから、学校区ごとに地区防災計画の検討を進めている。



放水体験



検討会議



(4) 取組プロセス

日時	回数等	講師等	内容
R1.10	令和元年度 南区地域防災研修	認定 NPO 法人 レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛 氏	演題：避難所運営の知恵袋
R1.11	R1 第 1 回 W S	危機管理対策室	演題：地区防災計画の作り方 W S：「災害物語」「避難物語」「希望物語」 を作る
R2.1	R1 第 2 回 W S	危機管理対策室	W S：想定される危険箇所及び、考えられる対策について
R2.2	R1 第 3 回 W S	危機管理対策室	W S：発災前、発災後の住民、町内会、連合会の役割などについて



(5) 会長からのコメント

阪神淡路大震災を教訓に、各町内会自主防災組織の立ち上げ、中学生も参加する地域ぐるみの防災訓練に取り組んできたが、地域の高齢化のなか、胆振東部地震など突然発生する地震、異常気象災害には、今までの取り組みで十分と言えません。

昨春、札幌市から地区防災計画のお話をいただいた後、南区の研修会や市主催セミナー、複数回のワークショップを経験し、今後の活動の道筋を地域で共有することが出来たと思います。

澄川は、平たんな地域もあれば崖地を有する地域もあります。町内会を 3 つの小学校区に分けて、危惧される課題を校区毎に整理し、各町内会の共通認識のもと、防災活動に取り組むことが必要と考えます。



石川 誓志 会長



(6) 有識者からのアドバイス・助言など

- ・中学生 100 名ほどの参加をした防災訓練は中学校のある地域でしかできないので、良いところに気づけたと思う。
- ・地区防災計画に取り組む単位として、中学校区でしかできない事、また、小学校区や町内会単位で取組むことが良い事があるので、上手に使い分けて取り組むと良いと思う。
- ・訓練を 20 年間続けてきたことは、この地区的財産なので、継続してほしい。そのためには、目標を設定して進めていくことで、マンネリ化することを避け、訓練の意義が伝わりやすくなると思う。

(三重大 川口准教授)